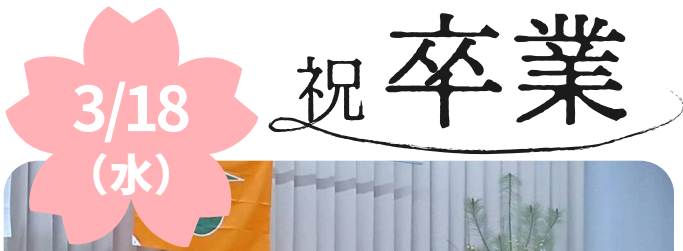


天龍村議会だより

第13号

発行日：4月9日



祝 卒業



小学校



中学校

2026年(令和8年) 第1回 天龍村議会定例会 議案一覧

- 承認1 令和年7度天龍村一般会計補正予算(第7号)について(専決第1号)
- 同意1 副村長の選任について
- 同意2 天龍村固定資産評価審査委員の選任について
- 議案7 天龍村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- 議案8 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の整備に関する条例について
- 議案9 一般職の職員の給与に関する条例等の整備に関する条例について
- 議案10 特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案11 天龍村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
- 議案12 天龍村国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- 議案13 天龍村保健師修学資金貸付金免除条例の全部を改正する条例について
- 議案14 組織改正に関する条例の整備に関する条例について
- 議案15 天龍村介護保険条例の一部を改正する条例について
- 議案16 天龍村保健師修学資金貸付基金条例の全部を改正する条例について
- 議案17 天龍村学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案18 天龍村総合交流促進施設の指定管理者の指定について
- 議案19 天龍村過疎地域持続的発展計画の策定について
- 議案20 令和7年度天龍村一般会計補正予算(第8号)について
- 議案21 令和7年度天龍村介護保険特別会計補正予算(第4号)について
- 議案22 令和7年度天龍村国民健康保険診療所特別会計補正予算(第4号)について
- 議案23 令和7年度天龍村営水道事業会計補正予算(第5号)について
- 議案24 令和7年度天龍村営下水道事業会計補正予算(第5号)について
- 議案25 令和8年度天龍村一般会計予算について
- 議案26 令和8年度天龍村国民健康保険特別会計予算について
- 議案27 令和8年度天龍村介護保険特別会計予算について
- 議案28 令和8年度天龍村後期高齢者医療保険特別会計予算について
- 議案29 令和8年度天龍村国民健康保険診療所特別会計予算について
- 議案30 令和8年度天龍村営水道事業会計予算について
- 議案31 令和8年度天龍村営下水道事業会計予算について
- 発議1 令和8年度天龍村議会事業計画について
- 議案32 天龍村使用料条例の一部を改正する条例について
- 議案33 天龍村独身住宅管理条例を廃止する条例について
- 議案34 損害賠償の額を定めることについて
- 議案35 天龍村過疎地域持続的発展計画の一部変更について
- 発議2 簡易水道基盤強化のための令和9年度予算確保を求める意見書



後藤知久 議員

有害鳥獣対策について

Q 昨年度補助金約750万円に対する駆除実績数

A 鹿：265頭、猪：62頭、猿：30頭、ハクビシン：42頭、タヌキ：6頭、アナグマ：1頭、となっており本年度も概ね昨年と同数になる

Q 農林産物への被害の把握

A 大きな被害はJA共済に報告されている。村・農業委員会を通じての被害内容は把握している。主に野菜類、タケノコ、杉・檜の剥皮等の食害です

Q 被害軽減のための電気柵の補助内容、近隣町村との補助額の比較

A 村では購入費の1/3、限度額8万円、阿南町・下條村は1/2で上限50万円、泰阜村4/10で下限額1万円、売木村：個人は無し

Q 熊に対する「緊急銃猟制度」を含む対策

A ハンターの高齢化による人員確保が課題。人と熊の生息域の区分が当村のような、山間地ではできないことが課題。ゴミ出しや柿など餌となるものの撤去を村民にも協力して頂きたい

高齢化社会に伴う地域等の対応について

Q 見守り活動等高齢者を支援する民生委員のなり手不足について

A 当村では10名の定数に対し10名の方が任務を委嘱されています。男性3名、女性7名で、再任者9名、新任1名、平均年齢69歳です。村の面積等考えると、現在の定数を確保したいので、委員の負担軽減が出来るよう取組んでいく

Q 地域包括センターを中心に行っている「あつまらまい会」の男性参加者の推移

A 過去3年間では令和4年20名、令和5年13名、令和6年13名と減少傾向

Q 男性の参加を促す居場所作り等の取組みについて、以前質問したがその後は

A 男性向けの料理教室や運動教室の開催を継続し、孤独化や健康管理を促す

Q 加齢性難聴に対応した補聴器の購入における村の補助と実績

A 補助を受けるには専門医による診断が必要で聴覚に係る身体障害者手帳を取得した方が購入される場合、国で定める基準額の範囲で全額補助となる実績としては令和5年度と7年度にそれぞれ1名の方がいます

物価高騰に伴う学生への支援について

Q 村の育英資金である「龍蛇山沢基金」の貸付額等の見直しは

A この4月から改正します。貸付額を高校生に対しては月額1万円を加算して3万円、大学・専門学校生には2万円加算し月額5万円まで貸与する

Q 親元を離れて暮らす学生たちに以前実施したようなふるさとの特産物を送る計画は

A 新型コロナの蔓延時のように外出もできない状況とは異なるので、計画はない



今村久雄 議員

DX推進計画に基づく情報発信

Q 村のDX推進計画では、スマホ教室、LINE配信、ホームページ充実、ケーブルテレビの活用などが挙げられている。具体的にどんな取組を進めてきたのか。あわせて、高齢者が新しい情報発信についていけるか、LINEの効果検証をどう行っているのか伺う。

A スマホ教室は昨年9月から11月に6回開催した。ホームページは検討委員会を立ち上げ、3月末のリニューアルに向けて準備中。LINEは昨年6月から運用し、2月25日時点で254人が登録。ケーブルテレビは1月からデータ放送を始め、防災無線やLINE情報、回覧の一部も文字で確認できるようにした。LINEは登録時アンケートや開封状況を参考にしながら、配信内容や時間帯を検証している。スマホ教室は内容が難しく参加が減ったため、今後は基礎的な内容に見直したい。

ホームページの課題と今後の方向性

- Q** 現在のホームページは、見たい情報が探しにくいなど課題がある。LINEは速報の入口、ホームページは情報を整理・蓄積する拠点として役割分担を明確にすべきではないか。また、今回の更新はどのような考え方と手順で進めているのか伺う。
- A** 現ホームページの課題は、情報が探しにくい、見にくい、古い情報が残っている点にある。更新にあたっては、職員や外部の意見を踏まえ、現行の会社を活用して進める方向とした。予算は400万円以内。村としても、LINEは迅速に知らせるためのプッシュ型、ホームページは必要な情報を探して取得するプール型という認識で使い分けており、その考え方でリニューアルを進めている。仕様書も作成している。

教育DXと一人一台端末

- Q** AI時代を見据えると、子どもたちが端末を日常的に使いこなし、自分で調べ考える力を育てることが大切だ。一人一台端末の家庭持ち帰りをどう位置づけ、どう活用していく考えか伺う。
- A** 天龍小中学校では、特定の学年で単発的に持ち帰ることはあるが、日常的な持ち帰りはしていない。ICT支援員の配置や教職員の努力、少人数教育もあり、学校内での端末活用力は十分高いと認識している。一方で、学習ソフトや探究学習に家庭でも活用してほしいという思いはある。持ち帰りを常時行っていない理由は、家庭でのトラブルへの懸念や、家族と触れ合う時間を大事にしたいという考えによる。

旧天龍中学校の利活用方針

- Q** 旧天龍中学校利活用検討委員会の答申を受け、村として今後どのような基本方針で活用していくのか。また、早期対応とはどの程度の時期を考えているのか伺う。
- A** 答申内容を尊重し、早期に対応できるものから進めていく。技術科棟は解体、グラウンドはヘリポート利用など、比較的早く方向性を出したい。一方、校舎、体育館、プールはさらに検討が必要で、施設ごとに時期は異なるが、なるべく早く方向づけたい。

どんぐり学園の位置づけ

- Q** どんぐり学園から旧天龍中学校の使用要望があると聞く。子どもたちの学びの場への配慮は重要だが、公共施設としては公共性と公平性の確保も必要となる。村はどのように整理していく考えか伺う。
- A** 検討委員会の答申でも、校舎の全部または一部の貸与が提案されており、どんぐり学園への貸与は利活用策の一つと考えている。ただし、公共性と公平性の観点から、公募の必要性も含め検討する。判断にあたっては、利用計画、管理計画、学校運営計画などが整っているかを見極める必要がある。仮に貸与する場合は、用途変更に伴う法令整理や契約内容の検討も必要。村としては、どんぐり学園の意義や地域への効果も踏まえ、支援のあり方を慎重に判断していく。



熊谷美沙子 議員

天龍村国保診療所の新体制と福祉事業について

- Q** 4月より県立阿南病院のご協力をいただき、新体制での診療が始まります。診療所の詳細のほか、阿南病院への通院支援、天龍村社会福祉協議会との連携及び支援について伺う。

- A** 天龍村国保診療所は阿南病院の巡回診療という形になり、毎週木曜日に阿南病院の関医師が担当される。患者数の状況等によりオンライン診療や訪問診療も検討するとの事。村営バス阿南線は委託先と協議した結果、増便や時間変更が難しいとの事であるため、福祉有償運送（福祉バス）による送迎や、より安価でのタクシー支援等を行う予定。（福祉バス：月～水曜日は阿南病院、木曜日は診療所、金曜日は阿南病院・新野診療所へ1回200円）今回は社協との連携を密にしながら、診療所利用の患者さんについてきめ細かく対応してきた。福祉バスについても職員体制の強化を図るなど、ご協力をいただいている。社協の運営に対する支援については出来ることから当初予算への計上をしているところであるが、引き続き社協の持続的、安定的な事業を支援するための施策を行っていく。

永嶺村長より「新たな体制により村民の皆さんに多少のご不便をお掛けする事になるが、ご理解いただき、やっていく中で改善点や要望等があれば真摯に検討していきたい」とのご答弁をいただいた。診療所、福祉バス等についての詳細は福祉課まで。

ケーブルテレビの移行について

Q 飯田ケーブルテレビ（光キャストビジョン）への完全移行が迫ってきている。進捗状況、課題のほか不安を持つ村民の方への対応等について伺う。

A 申込者数の目標（令和8年3月までの申込者数：600世帯の6割）はほぼ達成している。課題はNTTの工事が間に合っていない事であるため、週当たりの工事件数を増やしてもらうよう要請している。契約に至っていない世帯の把握は出来ているので、個別に対応する事も検討している。助成金制度が令和8年9月で締め切られること、また村営ケーブルテレビが令和9年3月で放送終了となることから、各広報だけでなく個々に確認し移行漏れのないよう努めたい。

助成金制度は9月までに申込みを済ませた世帯が対象となります。また村営ケーブルテレビの放映終了後はテレビが視聴出来なくなります。まだ飯田ケーブルテレビ（光キャストビジョン）へのお手続きをされていない方はお早めに！

2026年3月 村松克一議長 活動記録



3月23日 慰霊祭



3月24日 卒園式

編集後記

今回の議会だよりでは、初めて一般質問の答弁内容を掲載してみました。自分の中では大きな一歩であり、ちょっとした“躍進”だと思っています。ただ、構成の関係でページをまたぐ形となり、読みにくい部分もあったかもしれません。試行錯誤の途中ではありますが、より伝わりやすい紙面にしていきたいと考えています。

お気づきの点やご意見など、ぜひ気軽にお聞かせいただけたら嬉しいです。

副編集長：熊谷よし江



若芽が一斉に芽吹き、山々が萌える季節になりました。国の予算も“新たな地方創生”の考え方が盛り込まれていると聞きます。それが天龍村にどのような恩恵をもたらすのか、村の未来につながる課題としてしっかり向き合っていきたいと思います。小さな村だからこそ生かせる価値を大切にしながら、その歩みを前に進めていきたいと思っています。

編集長：今村久雄

